

美浜町エネルギービジョンの取組状況について
(スマートエリアに関する美浜町の取組)

令和4年10月28日
(機関名 美浜町)

美浜町エネルギービジョンについて

エネルギービジョン策定の背景

- 関西電力㈱美浜発電所1、2号機の廃炉の決定
- 美浜発電所3号機の運転期間の延長

- 「エネルギー構造転換」に向けた取組みの推進や地域住民への理解を図っていく必要がある
- 今後、中長期的な目線で、原子力発電所立地の自治体としてどうあるべきか、エネルギーの面からみて具体的なまちの姿を描く必要がある

エネルギービジョン策定の目的

- 目的①: 地元企業が活性化できるような経済対策、雇用の確保・創出につながるような地域共生・地域発展のあり方について、住民理解の促進を図ること
- 目的②: 周辺地域・類似都市の模範となるような、エネルギーの取組みを通じたまちづくりのあり方・指針を定めること

再生可能エネルギーを活用したまちづくりのあり方・指針を定めた「美浜町エネルギービジョン」を平成28年度に策定
また、各プロジェクトの具体的な行動計画をまとめた「美浜町エネルギービジョン事業化計画」を平成29年度に策定

国内外の状況を踏まえたエネルギービジョンの改定

(改定の背景)

- パリ協定やSDGs「持続可能な開発のための2030アジェンダ」の推進等、国外において脱炭素化に向けた取組みが加速。
- 国において、2050年カーボンニュートラルの表明及び電力部門の脱炭素化を目指した「グリーン成長戦略」が策定される。
- 県の嶺南Eコースト計画や、敦賀市のハーモニアスポーツ構想等、周辺自治体においても再生可能エネルギーを活用した計画が策定される。

(改定の方向性)

- 国や県、周辺市町における再生可能エネルギーの導入・利用促進に関する動向を記載。
- エネルギービジョン及び事業化計画の効果検証を実施し、既存プロジェクトの再編成及び国内外の動向を踏まえた新規プロジェクトを立案。

「美浜町エネルギービジョン」及び「美浜町エネルギービジョン事業化計画」を令和2年度に改定



① きいばすにおけるエネルギー環境教育体験事業

（嶺南Eコースト計画：基本戦略3、エネルギービジョン：プロジェクト①、⑭）

（実施内容）

1. 幅広い年齢層を対象にした、エネルギー構造高度化等について理解を深めるイベントや講座を開催
2. 県内外からの教育旅行や校外学習の受け入れ増加を図るための、広報活動及びプログラムの充実

【学校受入数の推移】

年度	学校数	学校 来館者数
H29年度	32校	3,320人
H30年度	30校	3,419人
R元年度	26校	3,107人
R2年度	45校	3,222人
R3年度	69校	4,874人



② 電池推進遊覧船及び美浜町レイクセンターへ等の再生可能エネルギー設備導入事業（嶺南Eコースト計画：基本戦略3、エネルギービジョン：プロジェクト⑥、⑨）

（実施内容）

1. 美浜町レイクセンターへの再生可能エネルギー設備等の整備
（太陽光発電設備 52.08kW、蓄電池設備 133.8kWh、急速充電器 25kW×2基、情報表示モニター）
2. 再生可能エネルギーへの理解促進を図るため、地域住民に対するセミナーや試乗会、観光事業者等と連携したツアー造成やモニターツアーを実施
3. 湖上観光の集客力や安全性向上、若狭湾次世代エネルギーパークの魅力向上等を図るため、電池推進遊覧船航路の難所である浦見川（最小幅約9m、延長約600m）に再生可能エネルギーを活用した先進の安全航行システムを既存再エネ設備と一体的に導入し、効果検証を実施



③ スマートタウンの整備に向けた調査

（嶺南Eコースト計画：基本戦略3、エネルギービジョン：プロジェクト⑨）

（調査内容）

1. 新たに整備するスマートタウンに関する調査・検討
（コンセプトや適地、ZEHの有効性等）
2. 新たなスマートタウンで提供し、さらには他地域への水平展開が可能な新しいサービスに関する調査・検討
（エネルギーレジリエンスの向上、美浜町の特徴を活かした暮らしを支えるサービス、VPPへの活用、ゼロカーボン・スマートタウンの取組に関する住民ニーズ調査）

